

川西小学校・川西中学校の躯体設備等調査結果及び地域説明会の報告について

1 現状と課題

川西小学校及び川西中学校は、清流地区の宅地造成などにより児童・生徒数が増加しており、いずれも空き教室がなく特別教室を普通教室に転用しているほか、1教室当たりの面積が平均的な面積より狭い状況となっている。

また建築後40年以上を経過しており、帯広市学校施設長寿命化計画においても優先度の高い第1グループに属していることから、令和5年度に長寿命化改修や増築の可能性について、躯体・設備等の状況調査を行った。



【川西小学校】

所在地：帯広市川西町西3線66番地
校舎：鉄筋コンクリート造2階建 1,862㎡
(昭和53年建築)
体育館：鉄骨造平屋建 668㎡
(昭和53年建築)

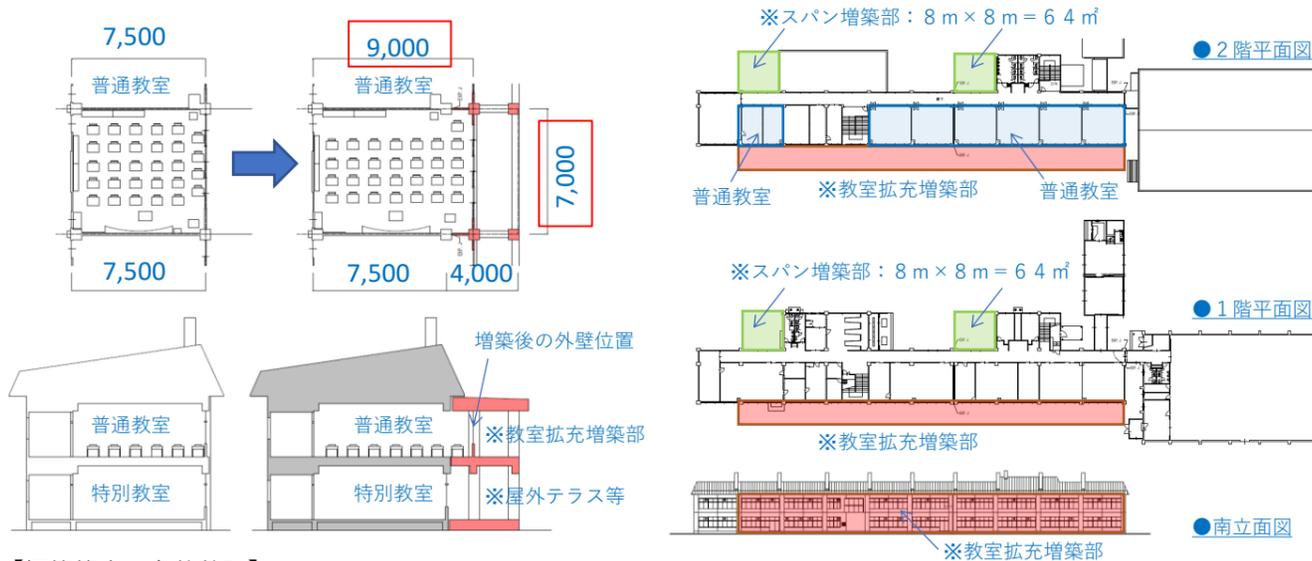
【川西中学校】

所在地：帯広市川西町西3線60番地
校舎：鉄筋コンクリート造2階建 1,767㎡
(昭和55年建築)
体育館：鉄骨造平屋建 724㎡
(昭和54年建築)

2 調査結果の概要

【狭隘化の解消】

一教室あたりの平均的な面積（約64㎡）を確保するためには、小学校で0.5m、中学校で1.5mの教室幅拡張が必要となるが、構造的な観点から柱を4m程度せりだし、教室拡充の増築部分を作る必要がある。これに加え教室不足解消のためスパン増築部分も想定し、事業費の概算を行った。



【概算算出の条件整理】

長寿命化改修においては教室拡充増築部分（川西小576㎡、川西中588㎡）及びスパン増築部分（川西小256㎡、川西中160㎡）を見込んでおり、工事期間中については仮設校舎の設置を想定している。また、改築においては教室拡充分（川西小72㎡、川西中220㎡）及び教室不足分（川西小256㎡、川西中160㎡）を見込んだ校舎面積としている。

【川西小学校】

| | 長寿命化+増築 | 改築 |
|------|-------------|---------|
| 校舎 | 1,862㎡+832㎡ | 2,190㎡ |
| 屋体 | 668㎡ | 668㎡ |
| 外構 | 駐車場・仮設校舎跡整備 | グラウンド整備 |
| 仮設校舎 | 1,942㎡ | - |

【川西中学校】

| | 長寿命化+増築 | 改築 |
|------|-------------|---------|
| 校舎 | 1,767㎡+748㎡ | 2,147㎡ |
| 屋体 | 724㎡ | 724㎡ |
| 外構 | 駐車場・仮設校舎跡整備 | グラウンド整備 |
| 仮設校舎 | 1,923㎡ | - |

3 概算事業費の比較

①川西小学校

| 長寿命化改修+増築 | | | 改築 | | |
|-----------|--------------|--------|-------|--------------|--------|
| 項目 | 工事費(税込) | 備考 | 項目 | 工事費(税込) | 備考 |
| 校舎(長寿命化) | 約720,000千円 | 1,862㎡ | 校舎 | 約1,230,000千円 | 2,190㎡ |
| 校舎(教室拡充) | 約230,000千円 | 576㎡ | | | |
| 校舎(増築) | 約110,000千円 | 256㎡ | | | |
| 体育館 | 約290,000千円 | 668㎡ | 体育館 | 約390,000千円 | 668㎡ |
| 外構 | 約170,000千円 | | 外構 | 約240,000千円 | |
| 仮設校舎 | 約450,000千円 | 1,942㎡ | 校舎等解体 | 約200,000千円 | |
| 合計 | 約1,970,000千円 | | 合計 | 約2,060,000千円 | |

②川西中学校

| 長寿命化改修+増築 | | | 改築 | | |
|-----------|--------------|--------|-------|--------------|--------|
| 項目 | 工事費(税込) | 備考 | 項目 | 工事費(税込) | 備考 |
| 校舎(長寿命化) | 約670,000千円 | 1,767㎡ | 校舎 | 約1,190,000千円 | 2,147㎡ |
| 校舎(教室拡充) | 約240,000千円 | 588㎡ | | | |
| 校舎(増築) | 約70,000千円 | 160㎡ | | | |
| 体育館 | 約310,000千円 | 724㎡ | 体育館 | 約420,000千円 | 724㎡ |
| 外構 | 約190,000千円 | | 外構 | 約300,000千円 | |
| 仮設校舎 | 約440,000千円 | 1,923㎡ | 校舎等解体 | 約200,000千円 | |
| 合計 | 約1,920,000千円 | | 合計 | 約2,110,000千円 | |

※上記概算事業費については、令和5年度調査時点によるもの。

【国の財源措置】

長寿命化改修+増築については、長寿命化（負担率1/3）+増築（負担率1/2）となるが、改築については面積増分（川西小：328㎡、川西中：380㎡）にのみ国庫補助対象となる。

4 川西小・中学校躯体設備等調査結果に関する地域説明会

本調査結果については、右表のとおり川西小・中学校学校運営協議会（CS）やPTA役員のほか、保護者や地域を対象とした説明会を行った。

| 日付 | 曜日 | 会場 | 参加者 |
|-------|----|-------------|-----|
| 6月26日 | 水 | 川西中学校 | 12名 |
| 7月2日 | 火 | 川西農業者研修センター | 21名 |
| 7月3日 | 水 | 清流の里福祉センター | 11名 |

【説明会で寄せられた主な意見】

- ・場所など様々な課題はあると思うが、保育所なども含めた小中一貫校の整備を望む。
- ・建築後40年以上経過しているため、新たな形で建て替えを希望する。
- ・仮設校舎など学習環境の変化は子どもたちに負担がかかると思う。
- ・子どもたちのことを第一に考え、施設整備を進めてほしい。
- ・小中一貫校として一つの学校を作る方が一度に整備が進み、予算が軽減されるのではないかと。
- ・教室を広げるのではなく、一クラスの人数を減らして教室数を増やすといった対応はできないのか。
- ・今後の教育にも様々な変化があると思うが、柔軟に対応できる新しい設計の学校を建ててほしい。
- ・小中一貫校になることで、先生方も連携がしやすく、進級する子供たちもスムーズに流れると思う。
- ・既設の学校にも良いところがあるので歴史を引き継いで子供たちに還元してほしい。
- ・新しい学校を作るとしても地域の負担に配慮してほしい。